

映画化で話題の著者の 初エッセイ集



Paris et les librairies
Ayako Pallus

パリと本屋さん
パリュスあや子

H.A.B

「ふらりと入った本屋で
偶然出会った一冊を
手に取ってみる。
—その瞬間はどの国にあっても
至福に変わらない。」

パリ郊外に住む日本人作家による本屋めぐり。
フランスならではの四季折々のイベントや、ストライキ、
コンフィヌモン（ロックダウン）といった社会的な動き
を経ながら少しずつ変わっていく生活を、本屋を中心に
「移民」独自の視点でやわらかく、ときに鋭く描く。
エッセイと書店インタビューに加え、書き下ろし小説
「Yousra」を収録。

★著者デビュー小説 『隣人X』 映画化！

上野樹里と林遣都の共演で、
2023年12月公開。
本書が映画公開時点での最新作
となります。

『隣人X』は2023年10月に映画カバーで文庫化。
あわせてご展開ください。

パリュスあや子

神奈川県生まれ、フランス在住。広告代理店勤務を経て、東京藝術大学大学院映像研究科・映画専攻脚本領域に進学。「山口文子」名義で歌集『その言葉は減価償却されました』（二〇一五年）上梓、映画『ずぶぬれて犬ころ』（二〇一九年、本田孝義監督）脚本を担当。二〇一九年『隣人X』で第十四回小説現代長編新人賞を受賞し、二〇二三年『隣人X 疑惑の彼女』のタイトルで映画化。他の著作に『燃える息』（講談社）。

取次：どの取次からでもご注文いただけます（返品条件付注文扱い、返品了解：ツバメ出版流通・川人）

▶ご注文先 ツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

TEL:03-6715-6121 mail:info@tsubamebook.com
http://tsubamebook.com

番線印	ご注文数	エイチアンドエスカンパニー(H.A.B)	11月中旬搬入予定
		<h3>パリと本屋さん</h3> 著：パリュスあや子 ¥1,950+税 232頁 ISBN 978-4-910882-05-5 C0095 B6判変形 上製	
ご担当：	様	[好評既刊]台湾書店百年の物語 書店から見える台湾 編：台湾独立書店文化協会 訳：フォルモサ書院 ¥2200円+税 978-4-9907596-9-8 各年代における中心的な書店から、台湾の社会状況とその中で書店が果たした役割を照射する、台湾の書店、文化の百年史。	